

## 原 明 議員（代表質問）

### 1 2021年度予算編成について

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、市税収入の大幅な減少が見込まれる。厳しい予算編成の中で市民を守るため、新型コロナウイルス感染症対策として、14事業で3億3,524万円の予算を計上されるなど創意と工夫をされたと思う。新年度予算編成にあたって、上田市長の思いを伺う。

### 2 新型コロナウイルスワクチン接種について

- (1) 新型コロナウイルスワクチンの医療従事者向けの優先接種が始まったが、ワクチンの供給が遅れているため滑川市では、いつ頃接種が開始されるのか。また医療従事者以外（健康センター職員、救急隊員、介護施設職員等）のワクチン接種はどの範囲までと考えているのか。
- (2) 国はワクチン接種の開始を4月12日からと発表した。ワクチンの供給の目途はたっているのか。これまで65才以上の高齢者、約9,800人に2回のワクチン接種に要する期間を6月末としているが見通しはどうか。
- (3) 市内12医療機関で、1日当たり320人の接種を想定されているが、予約の受付状況や医療機関の調整、管理をどのように進めていくのか。
- (4) 接種券の発送は、3月中旬以降の予定とあるが、何回かに分けて発送できないか、また接種率向上への取り組みと、どれくらいの接種率を想定しているのか。
- (5) ワクチンの供給が計画通り納入されたとして、16才から64才までの約19,000人への接種が完了するのはいつ頃となるのか。
- (6) 行政区域を越えて、ワクチン接種を連携することも考えていく必要があると思うが、見解は。

### 3 農業の振興について

- (1) 県は新品種「富富富」をコシヒカリに代わる主力品種として生産量を増やすため、作付面積の拡大を進めて行くとした。滑川市では、作付面積は増加しているのか。また「富富富」の消費拡大に向けた取り組みを計画しているのか。
- (2) 小規模農家、兼業農家の営農継続や後継者を育成するため、農業機械等の共同購入への補助は考えられないか。

#### 4 鳥獣被害について

- ・ 県は、2020年度の野生鳥獣による農作物被害が統計を始めた1999年以降で最小になる見通しだとし、被害の大半を占めるイノシシ対策が大きな要因であると報告された。滑川市でのイノシシの被害は減少しているのか。減少しているのであれば要因を問う。  
その他、カラス、ニホンザルの被害額の状況はどうか。

#### 5 観光について

- (1) コロナ禍の影響が心配されている中、今シーズンのほたるいか海上観光の予約は現在どのような状況か。
- (2) 新型コロナウイルス感染状況によっては、今年も自粛等の対応と対策が必要と思われるが、どの時点での判断となるのか。
- (3) 富山湾岸クルージングの岩瀬ルートの新設に向けた取り組みについて何う。
- (4) ふるさと龍宮まつりは、開催される予定であるが、街流しや、海上花火大会の開催決定はいつ頃か。

#### 6 プレミアム付商品券発行事業について

- (1) 昨年12月発行のプレミアム付商品券の販売実績と地域経済への効果、利用されている皆さんの声をどのように判断されているのか。
- (2) 令和3年度もプレミアム商品券の発行事業費として2,800万円計上さ

れているが、発行時期と内容について伺う。

## 7 今冬の除雪について

- ・ 本年1月8日から降り続いた雪により、35年振りの大雪となった。この大雪は災害であると思う。除雪体制や除雪機械の台数、オペレーター確保、除雪時間帯等を検証し、今後の大雪に備えたマニュアルを作成し、機動的で効率的な除雪計画に生かすべきと思うが見解を伺う。

## 8 教育の振興について

- ・ 小中学生が、正しい意志決定や効果的なコミュニケーション、感情のコントロールや他者への敬意など前向きな姿勢を身に着けることを目的として、ライオンズクラブではライオンズクエスト事業を推進している。滑川市内小中学校での導入について見解を伺う。



## 古沢 利之 議員（代表質問）

### 1 新型コロナ対策について

- ・ ワクチン接種の広報がされたが、国からの供給量や変異株など市民の不安は大きい。適時、的確な情報提供についてどうするか。

### 2 生活保護について

- (1) 本市の受給者世帯、受給者数の推移について
- (2) 昨年6月の首相答弁に基づいて、厚生労働省は昨年12月に「生活保護の申請は国民の権利です」としたリーフレットを作成した。当然の見解だが、「権利」との認識について問う。
- (3) 厚生労働大臣は、申請者の親族への「扶養照会」は義務ではないと明言している。「扶養照会」はこれまでどう行い、今後変更はあるのか。

### 3 防災、災害対策について

- (1) 今冬の雪害で農業用ハウスの被害が多く発生した。国、県による復旧支援があると聞いているが、市の支援は。
- (2) 避難施設になっている学校の体育館のエアコン設置を、計画的に進めるべきではないか。

### 4 地域医療構想について

- ・ コロナ禍で公立、公的病院の重要性が再確認された。「地域医療構想」の見直しを求めるべきではないか。



## 中川 勲 議員（一般質問）

### 1 東日本大震災から10年経過したが

- (1) 滑川市は防災に対する対応は十分か。また、各地区の自主防災訓練は行われているか。
- (2) 小中学校において児童生徒の防災に対する意識は高いか。
- (3) 避難所の確保と避難用具の準備は万全か。

### 2 消防分団について

- (1) 団長副団長及び分団長の定年を68歳、副分団長以下の定年を65歳とする議案が出されているがなぜか。
- (2) 早月加積分団、東加積分団、第三分団の詰所を1階として建設できないのか。階段の修繕費が計上されているが、団員の安全確保のためにも1階とすべきと思うが。

### 3 今冬の大雪の除雪について

- (1) 業者との反省会は行ったのか。また、課題はあったか。
- (2) 市民からの要望等が多くあったと思うが対応はされたのか。
- (3) 理想的な除雪体制はどうすれば良いと考えるか。

### 4 農業について

- (1) 大雪で農業ハウスが50棟以上倒壊したとのことであるが補助制度はあるのか。
- (2) 地元産野菜が不足しているとのことだが
  - ア 野菜の生産増加対策はとれないのか。
  - イ 中滑川駅前整備事業の建設予定の建物に朝市コーナーが予定されて

いるが大丈夫か。

(3) 深層水トマトはその後どうなったか。

## 5 ほたるいかプロムナード中央分離帯の植栽について

(1) もっと元気が出る花にされてはどうか。

(2) 照明灯ポールを利用してハンギングを取り付ければより艶やかになり、メインストリートらしくなると思うが、ハンギングを取り付けたらどうか。



## 竹原 正人 議員（一般質問）

### 1 今シーズンの大雪に対する本市の対応について

#### (1) 除雪の対応について

- ア 苦情、要望の件数と内容は。
- イ 前回の定例会で、機動的で効率的な雪処理を基本とする除雪計画について伺ったが、達成されたのか。
- ウ 連日の除雪作業で、市職員、市内除雪業者の疲労についてどう考えているのか。
- エ 消雪装置のある道路でも、今年の大雪では対応できない場所もあった。今後、市として機械除雪を併用するなどして、生活道路の確保は可能か。

#### (2) 大雪の対応について

- ア 1月12日、市内小中学校が休校となった。どのような判断だったのか。
- イ 通学路がしっかり除雪できていない中、学校再開は危険と判断できなかったのか。
- ウ 農業用ハウス、納屋、車庫、ガレージ、家屋等、雪害による被害はどれくらい確認できているのか。
- エ 大雪も災害だと考える。市として、被害にあった市民への対応について、どう考えているのか。
- オ コミュニティバスのダイヤの乱れ、事故等、利用者に迷惑をかけたか。
- カ 1月14日付で教育委員会から小中学生の登下校時のコミュニティバスの乗車券無料のお知らせが来た。実際の利用者はどれだけいたのか。

### 2 観光振興について

- (1) 台湾とのファムトリップや美食展への出展を予算化しているが、どのような状況になったら事業を行うのか。
- (2) ほたるいか海上観光の現在の予約状況と、今後の見込みについて、どう考えているのか。
- (3) 新型コロナウイルス感染症予防のために乗船定員を減らすことは仕方

のないことだが、果たして地元の観光事業に関係する業者が生き残れると考えているのか。

### 3 市内の公園等の緑地管理、街路樹の管理業務委託について

- (1) 長期継続契約（3年契約）が本年度末で終了するが、来年度以降も実施する予定なのか。
- (2) メリット、デメリットの検証を行ったのか。

### 4 成人式のあり方について

- ・ 今年、新型コロナウイルス感染症や、大雪による影響で、実際の成人式への参加者が少なかったと考える。成人式のあり方及び今後予定される18歳成人についての見解について伺う。

## 大浦 豊貴 議員（一般質問）

### 1 空き家対策について

- (1) 平成27年度から実施された空き家調査では、882件の空き家が把握されている。これまでに取り壊し・売買等が行われた件数は250件あり、令和3年2月現在では、空き家件数は632件である。平成28年に施行された滑川市空家等対策計画をはじめ、各種補助制度や空き家バンク等の媒体を用いられているが、滑川市空き家バンクに登録されている登録件数は43件あり、うち居住用は14件である。登録件数・事業効果等に対する評価を問う。
- (2) 本市の空家等対策計画の位置づけ・目的は、市民の生活環境の保全を図り、空き家等の活用を促進し、地域力の維持に役立てることを基本にしていると認識しているが、空き家バンク内では、43件のうち、居住用14件を超える29件の売買土地用の登録がある。土地登録も本市に限った登録ではないが、登録の目的について問う。
- (3) 売買居住用14件に対し価格公表されているものは、7件で応相談が7件。土地に関しては29件すべてが応相談である。空き家バンクの需要は、安価に住居を取得されたい方や、場所や家屋の状態で活用できるものを探す方が多いと考える。価格の記載がないもの、外観のみで建物内の様子が分からないものでは、購買意欲・所有者との交渉へはつながらないのではないか。
- (4) 生活環境を守り、市民サービスを目的とする空き家バンクと、営利を目的とする不動産事業者が掲載するサイトで取り扱う物件等には違いがある。行政を頼る人の中には、事業者に相談しても不動産価値がなく相手にされず、個人財産を寄付・処分されたい人もいると考えるが、空き家バンクに登録することはできないか見解を問う。
- (5) 各自治体行政の空き家対策においては、トラブルを避けるため個々の物件に関与しないケースは多いが、当初から行政が責任を持って関わることでトラブルの発生を排除しようという取り組みもあり、意識・姿勢の問題で一貫したサポートによる積極的な対応を期待する。現在、個人や企業・団体も地域課題に積極的に関わろうとする機運もあるが、本市は民間事業者等との連携構築が弱いと考えている。連携を築く上では情報の共有を図る必要があるが、空き家所有者情報を行政から民間事業者等へ提供する場合は、地方税法第22条・地方公務員法第34条などの規定

の関係などによって、あらかじめ所有者本人の同意を得ることにより情報提供は可能になる。民間事業者が主体的に空き家ビジネスへ活用されることは、地域・行政・所有者にメリットがあると考えるが見解を問う。

## 2 みんなでつくる協働のまち推進事業について

- (1) 平成22年の明るく元気なまち推進事業から名を変え、25年よりみんなでつくる協働のまち推進事業として継続しているが、約10年経過し、趣旨である地域コミュニティの活性化「きっかけづくり」に活かされているか。また、交付件数は約16団体から18団体前後で推移しているが、事業全体の交付金額は低下傾向にある現状に対する見解を問う。
- (2) 「1団体につき、1年度に1回、同一事業は3カ年度を限度。ただし、3カ年度実施した事業で、交付金の交付を受けなければ実施が困難であり、かつ、地域の活性化に特に大きく貢献すると認められる事業についてはこの限りではない。」とあるが、1団体につき、1年度1回の制限は自主的な活動の勢いを妨げるのではないか。地域の活性化に特に大きく貢献する事業とは何か問う。
- (3) 令和3年度は一般協働事業の20万円限度額対象を前年度の400世帯以上の町内会から200世帯以上の町内会へと変更されたが、町内会の規模と事業貢献度は別ではないか。たとえ一個人や小規模団体からスタートした事業でも、地域住民が共感し、町内や地区の枠を超え、新たな活動の輪を広げること・主体的に行動する人材づくりが本来の目的ではないか。SDGsや環境問題等の取り組み・公益的なまちづくりやまちの課題解決へのコミットを強く意識する企業や個人もいる。交付対象は、地域住民団体等と限定するのではなく、営利目的であるか・事業効果を精査し、交付対象・交付限度額を設けることを検討できないか。

## 3 ふるさと納税推進事業について

- (1) 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により人々は外出を控え、自宅で過ごす時間が増えたことで、オンライン上で寄付を申し込むことができるふるさと納税は、インターネット通販と同じ感覚で使う人が多い。ポータルサイト「ふるさとチョイス」を運営するトラストバンクも2020年度の納税全体金額は過去最高の2018年度の5,127億円から大幅に上回り、6,000億円を超える見込みだという。本市においても例年よりふ

るさと納税件数・金額も増加している。令和3年度は、ポータルサイトを1から2へ増やし、ふるさと納税事業により本市を応援していただくことや、事業PRを図る計画である。選考されている掲載サイトは何か。また、選考理由を問う。

- (2) 令和2年度12月時点で1,522件、2,225万円であるが、令和3年度の、目標とする件数・金額について問う。また、現在の返礼品76件から新たな商品発掘を行うことにより、返礼品の件数目標を問う。
- (3) PR効果がでて件数が増えることや、返礼品の発掘による選択数が増えることは、事業目的が達成されたことになるが、今後の推進事業における事務処理等、増えることも考えられ、体制に問題ないか。体制整備の計画はどうか。
- (4) 返礼品として市特産品の紅ズワイガニボイルやホタルイカボイルに人気があるが、現在2つの事業所から発送している。事業所ごとに扱う商品種別は同じでも、衛生面や冷蔵方法・加工過程・発送業務等に違いがあると考え。また、「ふるさとチョイス」の利用者アンケートでも、返礼品の指定理由に事業所を応援したいという結果が2番目に多い。事業所ごとに選択できるように分けていいのではないか。
- (5) ふるさと納税ポータルサイトの効果は、事業を通じ寄付を募るだけでなく、生産者や事業所の所得向上・観光資源や特産品PR・体験型等、件数や金額だけを目的とせず、寄付自治体に訪問する機会づくり・魅力体験にもつながると考える。しかし、あらゆる媒体を効果的に使うというが、返礼品の一覧等から私は、農林水産・観光担当課が、積極的に関わっているようには感じない。今後、人口減少による小売り事業・地域需要の低下等も考えられ、ふるさと納税推進事業に参加いただくことで、効果を生産者が感じることができれば、需要・販路拡大にも生産者が主体的にインターネット通販事業へ参入し地域商業の発展にもつながる可能性があると考えが、産業民生部は、媒体を効果的に活用しようという考えを持っているか。活用しているか。

#### 4 中滑川駅整備計画について

- ・ 中滑川駅整備計画のテナントには、ひかる市が出店予定だが、現在の運営は毎週水曜土曜の2日間8時から10時の2時間で、12月中旬から3月下旬までは休暇をとっている。移転後の運営形態も同じでは、ブースの効果的運用とはいえない。しかし、収穫時期や収穫量・生産者の負担

も考えられ、運営時間を長くしたらいいというものでもない。単独運営ではなく、共同運営も視野に入れて検討すべきと考えるが見解を問う。

## 浦田 竹昭 議員（一般質問）

### 1 今年の豪雪（雪害）対応について

- (1) 主要幹線道路や枝線、通学路等の除雪状況の実態、並びに除雪体制（除雪機械台数、オペレーターを含む人材、除雪費用）の現状と今後の対応について
- (2) 除雪作業による舗装道路の損傷、側溝や縁石ブロック、道路標識等の損傷の点検・調査の実施状況、並びに復旧・修繕対応の見通しについて
- (3) 農業用ハウス等の損壊状況並びに再建や復旧・修繕への支援、並びに育苗等への支援体制について
- (4) 除雪のできない高齢者世帯の福祉介護施設等の通所・送迎対応の現状と今後の対応について
- (5) 小学生の通学路の確保と登下校時の状況、そして今後の対応について
- (6) 公共交通コミュニティバスの運行経路の変更の実態とその対応、並びに今後の変更の場合の基準と代替対応、並びに利用者への周知案内等運行体制について
- (7) ゴミの集積場所への進入路確保、並びにゴミ収集車の搬入路確保の状況把握と、今後のゴミ収集体制について
- (8) 救急車両の搬入路確保、並びに防火水槽マンホールや消火栓箇所確保の状況と今後の対応等について
- (9) 建設、農林、福祉、環境、消防、教育等々関係機関の連携した対策対応の観点からの検証、検討の実施と来年への対策対応について

### 2 中滑川駅前周辺地区整備事業について

- (1) 中滑川駅前周辺地区整備事業は、誰のための事業なのか、また市民のコンセンサスが得られているのか。

- (2) 度重なる設計変更、申請変更等により、事業内容、コンセプトが軽薄化していないか。また、施設設計に際し実際の利活用についての議論がなされたのか。
- (3) 事務員、清掃員等含めた管理要員の人件費、並びに施設維持管理の年間経費について
- (4) 人口減少時代にあつて、財政も厳しくなる時代、そしてこのコロナ禍にあつて、巨額な事業予算と、これから毎年負担する維持管理経費を費やすこの事業は、緊急性のある最優先すべき必要不可欠な施設整備事業なのか。
- (5) 1階は、賑わい創出空間との位置づけだが、テナントに入る事業者があるのか。また、長く継続的な店舗経営ができるのか。そして集客をどれだけ見込まれているのか。そして採算性は見込めるのか。
- (6) 2階、3階の空間は、避難施設となっており、普段は多目的ホール、会議室として利用貸し出しとのことだが、市民交流プラザの同様な施設と競合することから、必要とする市民ニーズ、需要があるのか。
- (7) 2階には防災用品備蓄倉庫となっているが、緊急時に備品の搬入、搬出の効率的な対応ができるのか、また洪水ハザードマップに浸水地点として想定されているのに、なぜ災害避難拠点施設なのか。
- (8) これからの人口減少、財政状況、そして社会情勢が変化する時代にあつて、今後は公共施設の機能集約、統合、並びに一層のランニングコストの削減が行政マネジメントに求められることから、次の世代の価値ある施設となるよう、この整備事業を改めて見直す検討についての見解は。

### 3 土地の相続登記義務化について

- (1) 固定資産税の賦課徴収の状況並びに推移、また、不納欠損並びに収入未済額の発生要因について
- (2) 当市において、所有者不明の土地が存在するのか。何筆ほど存在するのか。また、そのうち固定資産税の徴収の状況について
- (3) 永代地上権設定土地の状況は。そのうち所有者不明の土地が存在するのか。さらに、固定資産税の徴収の状況について



- (4) 相続登記の義務化によって、所有者不明土地の発生の予防、土地の所有権並びに土地管理の明確化、円満かつ有効適正な土地の利活用、永代地上権問題解消への一助、そして固定資産税賦課徴収増への推進についての見解は。
  
- (5) 今後の相続登記義務化推進に向けての調査準備、事務処理対応、並びに相続登記促進の市民への事前PRと周知、相談体制について



## 高橋 久光 議員（一般質問）

### 1 ゴミ問題について

- (1) 各種道路（農道、市道、県道、国道）脇に捨てられているポイ捨てゴミ対策について伺う。
- (2) 家庭からのゴミ及び各家の周りから出るゴミの処理と野焼き防止法等の法律の相互関係について当局の考えを伺う。

### 2 地区公民館、各町内の公民館との相互性について

- ・ 市内それぞれの校区での状況が異なるが、校区全体での各種大型行事や集会になると地元で集まる場所について苦慮している。市内では、北加積、中加積の地区公民館で放課後児童事業が行われている等、場所の確保が難しい。今後の対応について考慮すべきでないか伺う。

### 3 地域先人達をたたえた地域PRを進めてはどうか

- (1) 近年では、市内全般に功績のあった功労者や名誉市民もおられるが、数々の農地に水を引いて開拓の功績を残したとされる先人、椎名道三をたたえた文献がたくさんある。そのような人々を市民がどの程度知っているか。以前に小学校の副読本として文献資料が発行されているが利用度について伺う。
- (2) この椎名道三は、滑川市に生まれ、滑川市で生涯を終えている。その間の功績は滑川市だけでなく、黒部市、婦負郡、遠くは加賀藩（石川県能登、能美郡、河北郡）にまで至っている。このような人をモデルに滑川市の知名度を上げるべきではないか。もっと何らかのPRを（例：滑川市、魚津市の米騒動の映画のように）したらと思うが見解を伺う。



## 青山 幸生 議員（一般質問）

### 1 教育委員会とPTAについて

- (1) 教育委員会はPTA活動についてどのように位置づけしているか。
- (2) 各小中学校からの備品等の要望はどのように行われているか。
- (3) 教職員の働き方改革とPTA活動との整合性はどのような見解か。

### 2 学校の環境について

- (1) 1月13日の豪雪時の登校判断についてどのような経緯で、またどのような意見があり決定したか。
- (2) 滑川中学校の駐車場はアスファルト舗装にできないか。

### 3 中小企業の振興について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響で、経営が厳しい事業者が多いと感じる。市から商工会議所へ補助金を出しているが、経営改善相談窓口としての状況及び効果は。
- (2) キャッシュレス決済促進事業費についてどのように周知し、事業者にどのように普及させるのか。
- (3) 工業団地造成事業特別会計が計上されている。安田工業団地は企業が決まったが、次の予定は。
- (4) 滑川市版成長戦略会議を創設してはどうか。



## 脇坂 章夫 議員（一般質問）

### 1 自殺対策について

- ・ 滑川市自殺対策計画について
  - ア 県内の自殺者の現状は。
  - イ 計画に基づく取り組みは。
  - ウ 今後の課題は。

### 2 一人暮らし後期高齢者について

- (1) 本市の一人暮らし後期高齢者数は。
- (2) そのうち、障がい者は。
- (3) 生活する上での支援や要望などの情報は把握しているか。

### 3 手話について

- (1) 担当課としての今年度の活動は。
- (2) 新しい手話への対応は考えているのか。





## 角川 真人 議員（一般質問）

### 1 防災について

- (1) 災害時の備蓄品にあわせ、感染症対策用備品も今回の予算に入っているが、具体的にはどのようなものを考えているのか。
- (2) 避難場所における感染症対策として、互いの間隔を保つためには段ボール仕切りだけでは不十分と考えるが、何か検討はされているか。
- (3) 災害時備蓄品での非常食、衛生用品にアレルギー対応のものを用意するのはいいと思うが、それが周囲にもわかるようにしないと避難者同士で混同されてしまう恐れもあるのではないかと。何か検討が必要ではないか。
- (4) 防災計画の避難関連施設の整備の中で、津波災害警戒区域内等において民間ビルを含めた津波避難ビル等について触れているが、そうした協力が得られたところはどこか。

### 2 除雪対策について

- (1) 除雪の遅れについて
  - ア 市民生活に多大な影響が発生した。この遅れの原因についてどのような検証が行われたか。
  - イ 市道でも除雪が遅れたところがあり、そうしたところでは直接業者に自己負担で除雪を依頼したケースもあったと聞く。緊急時の対応として、そうした場合に対する補助もこれからの除雪計画に含めて検討してはどうか。
- (2) 高齢者世帯の雪おろし援助について
  - ア 滑川市では豪雪時に、高齢者世帯の雪おろし援助に対する補助をその年度限りの事業で行っていると聞かすが、ホームページを見ても記述がなく、あまり市民に知られていないのではないかと感じる。周知が必要ではないか。
  - イ そもそも豪雪の基準があいまいで明記されていない。はっきりとどのくらいの積雪で行うのか決めた方がいいのではないかと。また豪雪ごとに施行するのではなく、制度化したほうがよくないか。
  - ウ 昨今の積雪では雪おろしまで必要になることは少なくなったが、高

齡化と若者の流出により、除雪に必要な人手が確保できない町内も増えているように思う。雪おろしに限定しないで、生活空間の確保のための除雪に援助を検討できないか。

## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 子育て環境について

#### (1) 医療的ケア児について

- ア 今年度初めて、医療的ケア児支援のための取り組みとして予算が計上されているが、今後どのように進められるのか伺う。
- イ 現在、市内では何人の子どもが対象か。
- ウ 医療的ケア児への支援が必要であるとする市の基本的な考え方は何か。
- エ 医療的ケア児の子どもたちが通所や預かりのできる保育園、認定子ども園などの事業所にはどのような条件が求められると考えるか。
- オ 訪問看護を受けながら家庭で家族が育てておられるのが現状と聞いたが、訪問看護の依頼は個人契約である。事業所への通所、預かり保育のためには市役所と訪問看護事業所との契約が必要とのことである。滑川市は「子どもが真ん中」の子育てのまちを推奨するためにも、事業所との契約など、一歩進んで取り組めないか伺う。
- カ 医療的ケア児を預かることは命を預かることから、万全の体制で臨まなくてはならない。あらゆる不安要素をなくすためには行政の指導的役割が強く求められる。法的整備を含め行政が指導的立場で取り組んでいくことは可能か。
- キ 今まで家族の負担だけで育てておられた部分を、行政、保育施設、そして家族と、地域で育てていくことが求められると思うが、医療的ケア児のショートステイなど考えられないか。

#### (2) 幼児教育の平等支援について

- ア 滑川市は第2子保育料が無料になっているが、発達障害や身体障害、そして医療的ケア児も含め、保育園や認定子ども園に通所できない子ども、していない子どもは何人ほどか。
- イ 現在、療養のため幼児教育を受けられていない子どもとその家族に療養支援金の支給は考えられないか。

### 2 健康について

#### ・ コロナワクチン接種について

- ア この後、高齢者の接種から始まると考えるが、(滑川流ということで)介護施設の関係者、保育士、保育教諭など、幼児施設関係者、小中学校関係者など、どうしても人と触れ合わなければならない人の優先接

種は考えられないか。できないか。

イ ワクチン接種と並行して特定検診が始まる。人手は大丈夫か。シミュレーションはしてあるのか。

ウ 厚生連滑川病院や市内開業医の協力がありがたいと思うが、今こそ健康センターOB、元看護師、ヘルスボランティアやボランティア連絡協議会など、健康センターに関わる人の協力を依頼すべきでは。

エ 受付や誘導、提出書類の確認など、接種会場がスムーズに運営できるために、どのような対策を取るのか。

オ ワクチンの運搬は健康センター職員が行うと報告があったが、交通事故などが懸念される。車移動のため専門職に依頼すべきと思うがいかがか。

### 3 高齢者の交通安全について

- (1) 高齢者の交通事故が非常に多くなっている。安全対策は。
- (2) 免許証返還手続きを家族がすると、非常に面倒だったと聞いている。具体的にどのような方法か。
- (3) 滑川市の取り組みの中で高齢者運転免許自主返納支援事業が設定されているが、「のる my car」のバス停まで遠くて歩けなくなったときの対応は。
- (4) 運転経歴証明書の市内の利用者はどれほどか。
- (5) 運転経歴証明書を持っているとタクシー料金が1割引と聞いている。「のる my car」のバス停から500メートル以上離れている人を対象に、滑川市の高齢者の交通安全に対して、もう1割加算をしてはどうか。
- (6) コミュニティバスの停留所について、野ざらしになっている停留所が多い。屋根やベンチを設置して、優しい停留所にできないか。

## 尾崎 照雄 議員（一般質問）

### 1 キャッシュレス決済促進事業について

- (1) 目的は何か。
- (2) 市内の店舗の導入実績を調べたのか。
- (3) 対象店はどうなるのか。
- (4) 利用者が限定されるのではないか。
- (5) 導入店舗に手数料が発生するのではないか。
- (6) 事業検証はするのか。

### 2 GIGAスクール構想について

- (1) オンライン学習への取り組みについて
  - ア 今後の取り組みについて
  - イ 家庭の通信環境の状況について
  - ウ 要保護世帯、準要保護世帯への通信費の対応について
  - エ 不登校児への対応について
- (2) 視覚や聴覚、身体等に障がいのある児童生徒が端末を円滑に使用できる環境整備について

### 3 デジタル化について

- (1) 本市のマイナンバーカードの取得状況について
- (2) マイナポータル・ぴったりサービスの現状と今後の対応について
- (3) 国が進めるコロナワクチン接種記録システムへの対応について

